

政治・経済 (Politics and Economics)		3年・通年・2単位・必修 物質化学工学科,担当 桑原 英之	
〔準学士課程 (本科1 - 5年) 学習教育目標 (1)〕	〔システム創生工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕	
〔講義の目的〕 どの時代、どの国で生まれようとも、政治や経済と無縁の生活を送ることは不可能である。そしていま自分がどのような時代、どのような状況におかれているのかを分析し、現在から未来に渡り、社会で、そして社会の一員として生き抜くための知的基礎体力と必須アイテムを身につけることが、「政治経済」という科目を学ぶ意義である。 本講義では、現代社会の基礎をなす政治的経済的構造を理解しながら、時にマクロな視点で、時にミクロな視点で、政治経済と私たちとの関わりを考えていく。			
〔講義の概要〕 現代社会における政治に関する基礎、経済に関する基礎知識を学びながら、社会全体の構造と成り立ちを理解する。それら基礎知識をもとに、現代社会の諸問題も考えていく。			
〔履修上の留意点〕 政治・経済は社会の基礎であると同時にナマモノ (=いまこの瞬間に働き変化するもの) でもある。日頃の新聞記事やニュースに関心をもつことが大事である。			
〔到達目標〕 前期中間試験：民主政治の基本原則、統治制度の仕組みを理解する。 前期末試験：平和主義、基本的人権の意義と仕組み、国際社会における法と国際機構の意味を理解する。 後期中間試験：現代経済の仕組み 経済主体間の取引関係、市場経済の構造とそのメカニズム、金融市場の構造と金融政策を理解する。 学年末試験：経済のグローバル化と地域経済統合、国際金融システム、およびわが国の経済発展の過程を理解する。			
〔評価方法〕 定期試験成績 (80%) にレポート等 (20%) を含めて総合評価する。			
〔教科書〕 「高校政治・経済」(実教出版、宮本憲一ほか9名) 〔補助教材・参考書〕 講義中に適宜指示する。配付資料も配るが各自保管整理すること。			
〔関連科目・学習指針〕 「地理」、「歴史」との関連が深い。また高学年で学習する「人文科学総合」とも密接な関連がある。			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	はじめに	政治と経済を学ぶ意義を理解する。	
第2週	民主政治の基本原則(1)	人権、政治と法の関係について考察する。	
第3週	民主政治の基本原則(2)	民主政治の原理と発展を理解する。	
第4週	民主政治の基本原則(3)	世界の政治体制の現状を理解し、こらからの政治の課題を考える。	
第5週	日本国憲法の基本(1)	日本国憲法の成立過程と意義を、歴史を振り返りながら考察する。	
第6週	日本国憲法の基本(2)	平和憲法としての日本国憲法の意義を理解する。	
第7週	日本国憲法の基本(3)	憲法と基本的人権とは何かを理解する。	
第8週	日本の政治機構(1)	日本の政治機構のしくみと三権分立の意義を理解する。	
第9週	日本の政治機構(2)	国会および内閣の地位、機構、権限、運営について考察する。	
第10週	日本の政治機構(3)	司法権の独立の意義と、地方自治の仕組みについて理解する。	
第11週	現代日本の政治(1)	日本における戦後政治の過去の歩みと現状について考える。	
第12週	現代日本の政治(2)	政党政治の意義と選挙制度の役割・課題について理解する。	
第13週	現代日本の政治(3)	行政機能の役割と市民の政治参加の意義について理解する。	
第14週	現代の国際政治(1)	国際政治の特質と国際法の意義について考察する。	
第15週	現代の国際政治(2)	国連の役割とその限界について理解する。	
前期末試験			
第16週	現代の国際政治(3)	現代国際政治の動向について、現在の状況も踏まえ考察する。	
第17週	現代の国際政治(4)	現代の地域紛争の状況を踏まえ国際平和のあるべき姿を考える。	
第18週	現代の国際政治(5)	国際社会における日本の役割と責任について理解する。	
第19週	現代社会の変容(1)	経済活動の発展の歴史を振り返り経済社会の基礎を理解する。	
第20週	現代社会の変容(2)	資本主義経済の一般的特徴を理解する。	
第21週	現代経済のしくみ(1)	企業と市場機構の仕組みと成り立ちについて理解する。	
第22週	現代経済のしくみ(2)	国民所得と経済成長のメカニズムについて理解する。	
第23週	現代経済のしくみ(3)	金融と財政のメカニズムを理解する。	
第24週	現代経済と福祉の向上(1)	日本経済の発達と産業構造の変化の歴史を考察する。	
第25週	現代経済と福祉の向上(2)	日本における中小企業の現状と農業の未来について考える。	
第26週	現代経済と福祉の向上(3)	国民の暮らしと環境保全・公害問題について理解を深める。	
第27週	現代経済と福祉の向上(4)	日本における労使関係と労働条件の改善について考察する。	
第28週	現代経済と福祉の向上(5)	日本における社会保障の役割と課題について理解する。	
第29週	世界経済と日本(1)	資本主義世界経済の展開と国際収支について理解する。	
第30週	世界経済と日本(2)	発展途上国の経済と日本経済の国際化について考察する。	
学年末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった。
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)